



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

10 月号

文責 樋口 正 則

1年の折り返し『10月』

校長 高橋 直 樹

10月から「GO TO キャンペーン」に東京発着も加わりました。先日のテレビでは「自然豊かな伊豆に出かけて、温泉にでも入って心身共にリラックスしてきたい」と都内でインタビューに答えている人を見て、うれしく思う一方で、それ以上に大きな不安になりました。また、高校生、大学生、一般とスポーツの秋を堪能するかのように、全国でスポーツをする人も観戦する人も楽しめるようになり、社会全体が大きく動き出しているように感じられます。

学校でも9月には各学年行事を行いました。それぞれの目的をもって、学びの場を学校から地域へと変えて充実した活動となりました。このようなコロナ禍にもかかわらずご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様方には感謝申し上げます。学年便り等で既にお知らせしているところですが、他学年の様子もご覧いただきたく写真とともに紹介いたします。

《 3 年 ・ 物づくり ・ 校外学習 》

中止となった修学旅行の3日間の内、2日目は伊東市へ出かけて陶芸にチャレンジしたり、ぐらんぱる公園で楽しいひとときを過ごしたりしてきました。また、3日目には伊豆総合高校の出前講座を受講して、工業科の授業のさわり部分を体験しました。学年委員が中心となって企画した「学年レクリエーション」でも多くの笑顔が見られました。



《 2 年 ・ 職場体験 》

新型コロナの影響で、当初予定していた職場で体験することができなくなった生徒も何人かいましたが、そのたびに地域の皆様のご理解やご協力をいただいて、有意義な職場体験学習を実施することができました。学校から離れての3日間は、あいさつの大切さをはじめ就労観など学校では得られない学びを実際に感じる事ができました。何よりも、学校とは異なる緊張感の中で過ごすことのできたこの期間は、とても貴重な時間となりました。学びの場を提供していただいた皆様、ありがとうございました。



《 1 年 ・ 地域探索 》

平成23年度より中伊豆地区の3小学校が統合され、中伊豆小学校となりました。学校が一つになったとはいえ、互いの旧学区については知らないことも多いのが中学1年生の現状です。そこで、3日間で白岩方面、八岳方面、大東方面に出かけてそれぞれの地域を探索しました。八岳方面に出向いた際には、萬城の滝キャンプ場まで足を運び、お弁当を食べて帰ってきました。片道7kmほどの道のりを仲間と声を掛け合い、頑張って学校まで戻ってきました。帰校後には、疲れも見せずに各地区で見たもの聞いたこと、感じたことを新聞にまとめました。

それぞれの地区に住む友達のガイドによって、中伊豆の広さや奥深さを実感することができた1日になりました。



『 緑流祭 』開催

あいにくの天候により、当初の予定を延期して13日の火曜日に「緑流祭」を開催しました。今年の「緑流祭」は、学級数の減少に加え、コロナウイルスの感染症対策として、例年と大きく変えて開催されました。文化の部を朝から始め、その後グラウンドにて体育の部を実施しました。種目ごとにも



ソーシャルディスタンスを意識し、「台風の日」では通常4人で竹を運ぶところを2人にし、「棒取り」でもあらかじめ決められた棒のみを取ることにして1本の棒に生徒が密集することを避けるようにしました。ややもすると、盛り上がり欠けるのではないかと心配しましたが、今年ならではの「緑流祭」を堪能しているかのように生徒からはたくさんの笑顔が見られました。保護者からも「コロナ禍でもすぐに中止にするのではなく、小規模でも開催していただけて子どもたちにとっても掛け替えのない1日になりました」、「1日で文化と体育の部を？なんて思いましたが、短い時間の中でも一生懸命なのが伝わってきて良かったです」との感想をいただきました。「どうしたら『緑流祭』が実施できるのか？」を、教師と生徒が知恵を出し合って創り上げた「緑流祭」では、生徒の成長が随所に見られました。